

金沢大学 共同研究講座・ 共同研究部門の ご案内

我が国の人口減少、アジア各国の追い上げの中、グローバルな競争が激化しています。この中で、我が国がかつての産業競争力を今後も維持することは、大変厳しい状況にあります。以前よりもリスクとコストを伴う中で、イノベーションを創出するためには、プロセスをよりオープンにして、企業、大学、サプライヤー、顧客など様々なパートナーが協働することが重要となります。このため、企業と大学が積極的に共同研究などを進め、グローバルなイノベーション・ネットワークを構築することが強く求められています。

さらに、国を越えた「イノベーション・エコ・システム」において、大学における基礎研究や国際的な共同研究は、企業のイノベーション活動の源泉となる知識の重要なソースとなります。企業と大学との共同研究・開発、知財の創出、さらに事業化のための大学発ベンチャーは、フロントランナーとして新しい地平を切り開いていく上で、最高の手段といえるでしょう。

金沢大学は、全学を挙げて、独創的な発想と新たな知を追究する研究によって、世界を牽引する研究拠点を構築しています。世界的な学問の潮流を見据えた上で、金沢大学の卓越した研究分野を先

鋭化するとともに、新たな強みとなる新領域の研究分野を創出しています。

金沢大学は、研究内容を適切に開示しており、世界的企業・自治体・他大学との連携を強化し、本学の卓越した研究成果を活用することによって、社会の課題を解決し、社会変革につながるイノベーションを創出して、研究成果を社会実装することを目指しています。このような中、金沢大学と企業との共同研究をより積極的に進めるための仕組みとして、「共同研究講座・共同研究部門」を開設しています。

この「共同研究講座・共同研究部門」では、学内部局の責任の下、効率的な運営と専任の教員による確実な共同研究の進展を図ることができます。共同研究には、基礎研究、応用研究、実用化開発、事業化、ビジネスモデル創出など多様な内容が考えられます。是非、金沢大学に「共同研究講座・共同研究部門」を設置いただき、我々と共にイノベーションの創出に取り組むことを期待しております。

金沢大学理事(研究担当)
和田 隆志



アクセス

金沢駅からキャンパスまでのアクセス(北陸鉄道バス利用の場合)

角間キャンパス

<バス停:金沢大学自然研前,金沢大学中央
又は金沢大学>まで
金沢駅兼六園口(東口)7番乗り場発
93-94-97金沢大学行き(兼六園下経由)

宝町・鶴間キャンパス

<バス停:小立野>まで
金沢駅兼六園口(東口)6番乗り場発 11東部車庫・
金沢学院大学・金沢大学附属病院行き 12湯涌・北
陸大学行き(小立野経由) 16上辰巳・駒場行き
金沢駅兼六園口(東口)7番乗り場発 13湯谷原・医
王山 14太陽が丘ニュータウン行き(金商経由)
金沢駅金沢港口(西口)5番乗り場発 10-11東部車
庫・金沢学院大学行き

MAP



角間キャンパス MAP



Tel 076-264-5298 Fax 076-234-4012

金沢大学 研究・社会共創推進部産学連携推進課産学官連携・社会実装係
〒920-1192 金沢市角間町

URL <https://research-promotion.adm.kanazawa-u.ac.jp/>
EMAIL sangaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

趣旨

共通の課題について本学と共同して研究を実施しようとする外部の機関・企業等から受け入れる経費等によって研究組織を設置・運用し、優れた研究成果を創出する制度です。

特徴

- これまでの共同研究と違い、企業の研究者を共同研究講座・部門の特任教員に受け入れることができます。また、在籍出向も可能です。
- 共同研究講座・部門の運営は、企業と大学とが協議して行います。
- 企業からの特任教員が単独で創出した知的財産は、あらかじめ設置契約により企業に帰属させることができます。
- 部局での責任教員の配置、専用の研究場所の確保、設備・計測装置の活用により、効率的で着実な共同研究が実施できます。

共同研究講座・部門の設置手続き

関心をお持ちの研究分野の研究を行っている金沢大学の教員との間で、共同研究講座・共同研究部門についてご相談ください。概要がまとまった段階で、設置の申し込みをいただきます。

詳しくは、研究・社会共創推進部産学連携推進課までお問い合わせください。なお、従来の共同研究、寄附講座・寄附研究部門の相談も受け付けております。

概要

研究分野	人文・社会・自然科学のいずれの分野でも、又はこれらを横断する学際的領域でも研究対象にすることができます。
名称	共同研究の内容に相応しい適切な名称とします。大学院に設置する場合は「共同研究講座」とし、研究所等に設置する場合は「共同研究部門」とします。企業が希望する場合は、企業名が明らかとなる名称を付けることができます。
構成	①教授又は准教授相当及び②准教授又は助教相当を含む2名以上の教職員から構成されます。その他、必要により協力教員を置くことができます。 研究者として、ポスドク、大学院生を参加させることにより、研究の推進と同時に、若手研究者の育成、活躍の場とすることができます。 共同研究講座・部門を置く部局に責任教員を置き、教育研究及び連絡調整を担当します。
設置場所	金沢大学構内
設置期間	2年から5年とします。更新することができます。
経費	研究に必要な費用の他に、講座の運営のために必要な環境整備費、教職員人件費、研究費を企業が負担することにより、研究場所と教職員の確保を図ります。

